



校長室だより



第39号 平成31年2月6日(水)
聖心ウルスラ学園聡明中学校・高等部

【生徒会役員選挙に向けて】

本日、平成31年度の生徒会役員選挙について、立候補の日程と選挙管理委員会についての説明がありました。



立候補とはとても勇気のいる行為です。立候補、それは落選するかもしれないという恐怖との戦いでもあります。落ちるのは苦しく辛いものです。

しかし、当選したらもっと苦しくなります。全校生徒のために、自分の時間を犠牲にして働かなければなりません。その困難を承知の上で立候補者は立ち向かわなければなりません。

立候補とはまさに、前向きに生きる格好良い考え方だと思います。

また、自分を変えるチャンス(機会)でもあります。今まで表に立てなかった自分を思いっきり変えてチャレンジ(挑戦)するのは素晴らしいことだと思います。立候補は、自分自身をチェンジ(改革)することが出来るのです。

多くの皆さんが、立候補してくれることを楽しみにしています。

さて、3月8日(金)に投票をする皆さんは、こうした立候補者の想いを十分に理解して、真剣に一票を投じて欲しいと思います。

我が国の選挙権は、平成27年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、20歳以上から18歳以上に引き下げられました。

生徒会選挙は、こうした社会の変化に対応し、望ましい公民的資質を育成するためにも貴重な経験の場となります。民主主義とは何かを学ぶよい機会ですので、親子で夕食の時間などを利用され選挙制度について、語り合うのもよいかと思ひます。



【卒業記念品として】

本校の卒業記念品は、聖心ウルスラ学園高等学校3学年と一緒に決めています。

今年も、保護者会から卒業記念品のご相談を受けました。

本校では毎年、入学式や卒業式の前日には、トラック等で記念体育館に行き、パイプ椅子を移動させています。

こうした実情から、本館体育館用のパイプ椅子を卒業記念品としてお願いしたところです。

学園3年生の保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

【しつけ12章】

その9 自分に打ち勝つことのできる子に育てましょう

すべてに責任をもちやり遂げる子に育てましょう。

他人の誘惑に負けない子に育てましょう。孤独にも耐え、勇気を持って生きる子に育てましょう。

苦しみをじっと我慢する子に育てましょう。感情を抑えることのできる子に育てましょう。

折にふれ、子どもの努力を認め、成功した時は、賞賛の拍手を送りましょう。

子どもは自信を失いかけても、親に支えられれば、自信を取り戻すことができます。親が子どもを信じ、子の夢、子の力、子の素晴らしい内面を心から認めれば、子どもは自尊心のある強い人間に成長することができます。

子どもは、親の言葉に励まされて、自分は愛されていると感じます。

そして、なし遂げた事だけではなく、意欲も誉めましょう。子どもが大人になり、様々な苦難にぶつかったとき、親に誉められたことが、心の強い支えになります。

親の言葉を、子どもは一生忘れません。子どもは、自分を誉めてくれる親を見て育つことで、友だちとの関係でも相手の良い所を認めて仲良くなっていくことの大切さを学びます。

こうして、子どもは、相手の長所を認められる明るい子に育ちます。親に誉められた分だけ人に好かれる子になるのです。

千葉県で小学4年生の児童が、父親の虐待により亡くなりました。父親は、「躰だった」と答えていますが、力による躰では子どもは恐怖を覚えるだけです。なぜいけないのかをしっかりと理解させないと子どもは成長しません。

大人の都合ではなく、子どもの目線に立って、子どもの成長を促して欲しいと願います。

【今後の主な行事】

月日	行事内容
2/8(金)	センター早期マーク模試(S5)
2/12(火)	同窓会入会式(2限) 職員室入室禁止(学年末試験前)
2/13(水)	卒業感謝ミサ、魂ゆずり